

#37 最旬リノベーション事情②

これからのリノベは 「生き方を創る、リノベに。」



前回のgm誌(vol.54)では、リノベの最旬テーマの一つ「健康」についてお伝えしました。ご参考いただけたでしょうか。
 今号の「最旬リノベーション事情②」では、残りの2テーマ「快適・便利」「私らしさ」にスポットを当て、
 積水ハウス・住生活研究所の研究ノウハウをベースに具体的なアイデアや工夫のポイントをご紹介します。
 「健康」「快適・便利」「私らしさ」は、これからのリノベを考える上でしっかりと意識しておきたいテーマです。
 ぜひ前号と合わせてご一読いただき、理想の暮らしを実現するリノベのヒントに出会ってください。

「快適・便利」はもちろん、
「私らしさ」にこだわりを。



「快適・便利」は、リノベを行なう上であたりまえのテーマかもしれませんが、一般的に「快適で便利」と言われる間取りや設備でも、家族のライフスタイルによって暮らしやすさは違ってくるものです。わが家どのように過ごすか、どんな使い方をするかをイメージしながら、暮らしにぴったりのリノベ計画を考えることが大切です。

また「私らしさ」は、本当に好きなものや心地よい雰囲気追求するというテーマ。これまでさまざまな条件などで実現できなかった「憧れの空間づくり」へのチャレンジです。旅先で出会った風景の再現や、大切に仕舞っていたコレクションのお披露目など、まずはこだわりを大きく膨らませることが第一歩になるでしょう。

いま、水まわり設備は
こんなに進化している。

「快適・便利」で一番気になるのは、キッチンや浴室などの水まわり設備です。実際に設備機器の進化は目ざましく、数年経つだけで機能が大きく変わっていることも稀ではありません。それではキッチン・浴室・洗面の最新機能や空間のポイントをご紹介します。いきましよう。

●キッチン

キッチンでは設備の刷新と同時にオープンスタイルにレイアウト変更するケースも多く見られます。キッチンの向きを変えたり、吊り戸棚を取り払うだけでも開放感がぐんとアップ。とくに家族や友人と楽しくおしゃべりしながら料理したい、みんなでキッ

チンを囲みたいという場合におすすめです。またコンロをIHクッキングヒーターにするケースも多く、火を使わないから安全で、掃除がしやすい点などが魅力になっています。清掃面では例えばレンジフードの進化も注目ポイントです。自動洗浄機能付きなどお手入れの手間がかからない機種が増え、高い換気能力と静音性を両立させたタイプもあって、キッチンワークのストレスをトータルに解消してくれます。

収納面では引出し収納が便利。重いフライパンや鍋も出し入れしやすく、ふだん使用の食器も引出しなら中身が見渡せるので準備も片付けもスムーズです。そして要チェックなのが調理家電類の収納。多彩な家電を上手に活用するには、出し並べておけるようしておくのがポイントです。思いのほか

●浴室

浴室は1日の疲れをリフレッシュする大切な場所ですから、少し贅沢に考えても良いのではないのでしょうか。リラククス効果で大人気なのが、肩湯機能のある浴槽。湯船に浸かりながら首から肩へと湯をまとうような心地よさが得られます。気泡による爽快な刺激が得られるジェットバスなども検討してみたい快適機能の一つです。

さらにリラククス感を高める雰囲気づくりもポイント。明るさや光の色をコントロールできたり、お気に入りの音楽を流せる浴室がおすすめ。バスタイムがいつも豊かに



オープンキッチンへのリノベで開放感とコミュニケーションをアップ。



IHクッキングヒーターをテーブルに組み込んだ「いろりダイニング」。



調理家電を使いやすく省スペースで収納できる工夫が大切。



ダクトのないカウンタータイプのレンジフードも登場。(IH専用、定期メンテナンスが必要)



ガスとIHの2つの熱源を使い分けられるタイプを選ぶのも一案。



▲心地よい肩湯が楽しめる浴槽で極上のバスタイムを演出。



◀シャワー派の家族におすすめなのがオーバーヘッドシャワー。



あかりを落として音楽を流せば、上質なリラックスタイムに。

演出できます。

また最近の浴室は床の断熱性の向上などで冷んやり感が抑えられ、浴槽も保温性能の高いタイプがラインアップされています。入浴時間にズレがあっても湯温が下がりにくく、加えて湯量が節水できるなど、エコライフにも有効です。

●洗面

入浴後の着替えをする洗面室も、「快適・便利」リノベのポイントで、ぜひ採用したいのが小空間向けのエアコンです。脱衣時の暖かさや湯上りの涼しさは格別。温度変化による身体への負担も軽減でき、健康面でも安心です。

そして足をオープンにしたカウンタータイプの洗面化粧台にすれば、座ってゆったりとメイクやスキンケアが行なえ、快適さがますますアップします。



座れる洗面カウンターなら、メイクも落ち着いてゆったりと。

収納問題の解決で暮らし心地をアップ。

「快適・便利」を高めるには、空間をすっきりと整えやすくしておくことも肝心。リノベ時にぜひ意識しておきたいのが収納です。家族が成長してライフステージが変化すれば、持ち物もずいぶん違ってきてくるはず。どんな物が散らかりがちか、片付けにくい物は何か、という現状チェックから始めましょう。

●リビング収納

最も散らかりやすいのはリビングでは？ 家族と一緒に色んな物が集まってくる、使うことが多いから近くに出しっぱなし、収納場所が決まっていないからそのまま…といったことが起こりがちです。

そんな問題を解決するのが、リビング脇に小さな収納スペースを設けて内部に奥行きを浅いオープン棚を設置した「リビクロ（リビングクローク）」掃除道具などの大物からスマホグッズやゲーム類、アイロンやフイルム類などをまとめて納められ、サッと片付けやすく、パツと取り出しやすい「快適・便利」なリビングが生まれます。



片付けやすく取り出しやすい「リビクロ」。LDKの広さを少し抑えてでも設けたい収納です。

●玄関収納

片付けにくくは玄関も強敵。傘や宅配用品、スポーツやアウトドアグッズなど、靴以外の収納がポイントです。ウォークインスタイルの「シュークロ（シューズクローク）」を設ければ、扉を閉めて上手な目隠しが可能。いつもすっきりと整えやすく、突然の来客時に慌てることもありません。



玄関をすっきりと整えておきやすい「シュークロ」。

●衣類収納

量が増えたり、好みが変わったり…衣類収納の悩みを抱えているなら、ぜひ「シンクロ（寝室クローク）」を。ウォークインタイプで収納量もたっぷり確保でき、季節の衣類が見渡しやすく、寝室直結なので身支度も一箇所で整えやすくなります。



衣類や寝具がまとめて納められる「シンクロ」。

「リビクロ」「シュークロ」「シンクロ」を設けるには間取り変更も必要ですが、満足度の高い「快適・便利」リノベが実現できます。

壁のリフレッシュで私らしい空間づくりを。

空間をイメージチェンジして「私らしさ」のある住まいを目指すなら、壁の雰囲気を変えるのが最も効果的です。色や柄にこだわったり、素材や質感の違いをアクセントとして活かしてみるのも良いでしょう。

たとえば、彩度を抑えたシックな壁色にすれば、落ち着いた大人インテリアに。ウッディな家具や明るい色調の家具と組み合わせても、モダンな雰囲気にもとめられます。逆にビビッドな色にチャレンジするなら、部屋全体に使わずにアクセントウォールとして活かすのがおすすすめ。空間にメリハリが生まれて、「私らしさ」を印象づけられます。そしてアクセントウォールは壁の一部分だけなので、比較的イメージチェンジしやすいのも魅力。少し大胆な色柄を試してみたり、タイルやウッドパネルなどで素材の変化を楽しんでみるのも素敵です。

また壁をリフレッシュする際に、同時に考えたいのがディスプレイです。オープンな飾



シックなグリーンがソファとのコントラストを生み、空間全体を引き締めています。



個性的な色はアクセントウォールとして活かすことで空間のデザイン性がアップします。



ディスプレイするもので空間の雰囲気を換えられるので、インテリアの楽しみも膨らみます。



素材感のあるシックなタイル壁をアクセントに。空間が上質な雰囲気にとまります。



り棚を設けて、少しずつ集めてきたアート作品や思い出の家族写真、旅先で出会った雑貨などをお披露目すれば、本当に「私らしい」インテリアが完成。季節や気分に合わせてディスプレイを交える楽しみも生まれます。

床の人気は質感重視、だけど性能面も忘れずに。

壁と同じく、床も空間の中で大きな面積を占める部分。部屋全体の印象をガラッと一新でき、まさにわが家が生まれ変わったようなリノベが実現します。ただし、床の張

替えは工事の規模も大きくなりますので、慎重な検討が必要と言えるでしょう。

床選びでまずポイントになるのが、色の濃淡です。一般的にライトトーンなら爽やかで広がりのあるイメージが生まれ、ダークトーンなら落ち着いた重厚な雰囲気が演出できます。インテリア全体を大きく左右するので、壁や家具などのトータルコーディネートが大切になります。

また最近では、無垢材やノーワックスの床板など、ナチュラルな素材感に富んだタイプが人気。確かに手触りも豊かで、素足で過ごしているときも心地よいのですが、水染みや汚れが付くと落としにくいというデメリットもあります。質感とメンテナンス性のバランスを十分に考えて選ぶようにしましょう。



ダークトーンの床で落ち着いた印象に。



ライトトーンの床で爽やかな雰囲気に。

さらにマンションでは、階下への音の響きも要注意。床の材質によっては音が伝わりやすく、思わぬトラブルを引き起こすケースも少なくありません。遮音性などの性能面の吟味も重要です。



木目にバラツキ感がある床板も魅力的。



手触りが心地いいとフロアライフも快適。

使わなくなった和室をわが家自慢のスペースに。

子育ての時期には大活躍だった和室も年々使わなくなってきた…。そんな家庭も多いのではないだろうか。和室を取り払ってリビングを大きく広げるといったのも一案ですが、こだわりのプラスα空間にリノベするという活かし方も魅力的です。

たとえば、趣味スペースやワークルーム、夫婦でお酒を楽しむミニラウンジや家族共用のライブラリースペースにするというアイデアはいかがでしょうか。リビングと完全に仕切ってしまわずに半独立型のスペースにしてあげれば、空間全体の広がり感もアップ。ゆったりとしたリビングの中に、わが

家ならではの自慢のスペースを創り出すというイメージです。

壁や床などのインテリアとプラスα空間による間取りの両面から、ぜひ「私らしい」リノベを実現してください。

*

リノベによって暮らしの夢は無限大に広がります。ただし、水まわり設備やインテリアのリフレッシュ、間取り変更などは、お住いのマンションの構造などによって可能な範囲が異なります。検討される場合は事前にプロに相談することが肝心です。



腰高の収納で程よく仕切った趣味スペース。お気に入りのものに囲まれる心地よさが満喫できます。



リビングの奥に設けた家飲み空間。インテリアにもこだわってリビングとは違った雰囲気をつくろげます。